



公益社団法人 国土緑化推進機構

National Land Afforestation Promotion Organization

公益社団法人 国土緑化推進機構

活動報告レポート

寄付金額 68,761円（令和元年9月）

1. KURADASHI.jp 会員様へ

今年も台風15号、19号が連続して関東、東北地方に襲来し、甚大な被害が発生しました。台風15号は千葉県を中心に強風による被害が発生し、停電、断水により長期間にわたり広域のエリアで住民生活に大きな影響が出たところです。また、台風19号は関東、東北各地に記録的な大雨をもたらし、河川の堤防決壊等により甚大な洪水被害が発生しました。毎年のように、全国各地で自然災害が頻発することが現実となり、他人事では済まされない状況です。

前回のレポートでも触れましたが、森林はスポンジのような森林土壌が雨水を一時蓄える働きがあり、この働きにより森林に降った雨は一気に川に流れ込まず、時間をかけて川に流れ込むこととなります。このことから森林は「緑のダム」とも呼ばれています。この機能により、洪水を引き起こすリスクを緩和する働きがあります。雨が上がった後でも、時間をおいて河川の水位が上昇するというのは森林のこのような働きによるものと思われま

す。また、森林は、空気中の二酸化炭素を吸収固定する働きを持っています。二酸化炭素の吸収源としての役割は大きく地球温暖化防止にも貢献していると言えます。

このように、私たちの生活と密接な関係にある森林を守り育てることが私たちの命と暮らしを守るために重要な役割を果たしてくれているのです。

会員の皆様におかれましては、森林の持つこのような働きを発揮する上からも、緑の募金へのご協力をよろしくお願い致します。

2. 緑の募金による東日本大震災復興事業

令和元年6月4日、岩手県釜石市根浜地区で海岸林に海浜植物の種を蒔く活動が実施されました。当該地域はラグビーワールドカップ会場に近い鶴住居地区で当日は、地元の釜石東中学校の生徒役120名が参加し、地域住民と一緒にハマヒルガオなどの種まきを行いました。今後、マツ林や海浜植物の再生を進め、昔ながらの風景を取り戻せるよう地域が一体となって取り組むこととしています。



植樹活動に参加した釜石東中学校生徒



種まき風景